



平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社リンコーコーポレーション
 コード番号 9355 URL <http://www.rinko.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月12日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 坪井 鈴児
 (氏名) 山下 和男

TEL 025-245-4112

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,558	△12.0	258	△23.1	252	△54.0	136	△50.0
26年3月期第2四半期	9,730	0.9	335	12.0	547	84.6	272	139.4

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 314百万円 (△21.6%) 26年3月期第2四半期 401百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第2四半期	5.05	—
26年3月期第2四半期	10.10	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年3月期第2四半期	37,358	12,899	34.5	478.46
26年3月期	37,374	12,424	33.2	460.57

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 12,899百万円 26年3月期 12,424百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	—	—	3.00	3.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,850	△8.1	610	△9.0	510	△39.2	280	22.2	10.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	27,000,000 株	26年3月期	27,000,000 株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	40,400 株	26年3月期	22,796 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	26,962,475 株	26年3月期2Q	26,977,653 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の条件に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

平成26年4月1日から9月30日までの6ヶ月間(以下、当第2四半期)におけるわが国経済は、緩やかな回復基調にあるものの、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動が長期化している影響等もあり、引き続き先行き不透明な状況にあるものと認識しております。

このような事業環境にあつて当社企業グループは、ホテル事業部門の業績は堅調に推移いたしましたが、運輸部門、機械販売部門、商品販売部門等が低調に推移し、当第2四半期の売上高は85億5千8百万円(前年同四半期比12.0%の減収)、営業利益は2億5千8百万円(前年同四半期比23.1%の減益)、経常利益は前年同四半期で計上した貸倒引当金戻入額が当期はないことにより2億5千2百万円(前年同四半期比54.0%の減益)となり、四半期純利益は1億3千6百万円(前年同四半期比50.0%の減益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[運輸部門]

コンテナ貨物の取扱は、消費税増税後の反動により主に輸入雑貨品が低調であり、輸出貨物も円安による効果が弱く荷動きが鈍い状態が続いております。一方、一般貨物の取扱は、概ね堅調に推移し、当社運輸部門及び運輸系子会社を合わせた港湾運送事業における船内取扱数量は、309万トン(前年同四半期比2.6%の増加)となりました。

これらの結果、当社運輸部門と運輸系子会社4社を合わせた同部門の売上は54億4千4百万円(前年同四半期比0.3%の減収)、セグメント利益は1億2千1百万円(前年同四半期比20.0%の減益)となりました。

[不動産部門]

大口の土地賃貸契約が減少した結果、同部門の売上は1億6千1百万円(前年同四半期比11.6%の減収)、セグメント利益は8千4百万円(前年同四半期比22.5%の減益)となりました。

[機械販売部門]

消費税増税に伴う駆け込みにより、建設・産業機械メーカーでは前年度末までの納入を優先した生産体制であったため、生産遅延や納期延長が発生し、大型の建設・産業機械の販売件数が減少いたしました。また、前年度において消費税増税前の建設・産業機械や自動車の新車への入れ替えが進んだことが影響し、大型機械整備及び自動車車検の件数が減少いたしました。

これらの結果、同部門の売上は5億3千3百万円(前年同四半期比39.6%の減収)、セグメント損失は2千8百万円(前年同四半期は5百万円のセグメント利益)となりました。

[ホテル事業部門]

株式会社ホテル新潟では、レストラン収入及び一般宴会で大型会合の受注件数が減少いたしました。宿泊部門が好調に推移し、前年同四半期比で増収増益となりました。株式会社ホテル大佐渡では、団体旅行の募集客が増加し、前年同四半期比で増収増益となりました。

これらの結果、同部門の売上は14億4千7百万円(前年同四半期比1.4%の増収)、セグメント利益は6千2百万円(前年同四半期比87.9%の増益)となりました。

[商品販売部門]

消費税増税に伴う駆け込み需要の反動により住宅資材の需要が落ち込んだことやセメント出荷量が減少したことから、同部門の売上は8億6千5百万円(前年同四半期比47.7%の減収)、セグメント利益は2百万円(前年同四半期比90.9%の減益)となりました。

[その他]

産業廃棄物処理業、保険代理店業、OA機器販売等を合わせたその他の売上は1億8千1百万円(前年同四半期比5.2%の減収)、セグメント利益は1千4百万円(前年同四半期比13.4%の増益)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産の部は、前連結会計年度末と比べて1千6百万円減少し、373億5千8百万円となりました。

負債の部は、前連結会計年度末と比べて4億9千万円減少し、244億5千8百万円となりました。この主な要因は、有利子負債の増加2億8千3百万円、未払法人税等の減少3億2千8百万円、退職給付債務に係る負債の減少3億7千9百万円であります。

純資産の部は、前連結会計年度末と比べて4億7千4百万円増加し128億9千9百万円となりました。この主な要因は、退職給付債務計算方法変更による利益剰余金の増加であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月13日の決算短信で公表しました通期の連結業績予想につきましては、現時点では見直しを行っておりません。

ただし、平成26年9月30日に公表しました「当社子会社の特別清算結了の見通しについて」に記載のとおり、臨港商事株式会社の特別清算結了が今期の当社連結及び個別業績に与える影響につきましては、現在精査中であり、その影響が明らかになり次第、すみやかに公表いたします。

(注) 上記の業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は予想と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当社は、平成26年4月1日付で横浜港の通関業者である株式会社ワイ・エス・トレーディングの全株式を取得し、100%連結子会社としたため、第1四半期連結会計期間より、同社を連結の範囲に含めております。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下、「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更、割引率の決定方法を支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る負債が376,770千円減少し、利益剰余金が243,468千円増加しております。また、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	599,886	570,905
受取手形及び営業未収入金	3,526,679	3,505,095
たな卸資産	122,526	112,826
繰延税金資産	154,165	156,427
その他	117,433	154,594
貸倒引当金	△7,532	△7,842
流動資産合計	4,513,158	4,492,006
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,134,519	22,276,392
減価償却累計額	△14,621,095	△14,847,025
建物及び構築物(純額)	7,513,424	7,429,366
機械装置及び運搬具	2,355,553	2,379,402
減価償却累計額	△1,983,771	△1,976,484
機械装置及び運搬具(純額)	371,782	402,917
土地	21,525,126	21,527,812
リース資産	449,393	523,808
減価償却累計額	△191,770	△230,900
リース資産(純額)	257,623	292,907
建設仮勘定	111,500	110
その他	1,143,883	1,147,025
減価償却累計額	△969,482	△986,787
その他(純額)	174,401	160,238
有形固定資産合計	29,953,858	29,813,353
無形固定資産		
リース資産	13,844	10,342
その他	13,172	11,676
無形固定資産合計	27,017	22,018
投資その他の資産		
投資有価証券	2,451,997	2,651,235
繰延税金資産	65,258	64,107
その他	746,141	552,226
貸倒引当金	△383,268	△243,385
投資その他の資産合計	2,880,129	3,024,183
固定資産合計	32,861,005	32,859,555
繰延資産		
社債発行費	—	6,560
繰延資産合計	—	6,560
資産合計	37,374,164	37,358,123

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,953,458	1,871,170
短期借入金	3,480,000	3,750,000
1年内返済予定の長期借入金	3,065,698	2,894,341
1年内償還予定の社債	—	100,000
リース債務	88,639	97,684
未払法人税等	467,642	138,794
賞与引当金	315,218	340,641
その他	933,035	697,521
流動負債合計	10,303,693	9,890,154
固定負債		
社債	—	400,000
長期借入金	5,945,713	5,630,470
リース債務	190,849	215,722
繰延税金負債	1,293,608	1,516,196
再評価に係る繰延税金負債	5,640,326	5,640,326
役員退職慰労引当金	109,800	82,513
環境対策引当金	20,810	19,579
退職給付に係る負債	1,212,413	833,344
資産除去債務	93,168	94,175
その他	138,935	136,495
固定負債合計	14,645,626	14,568,824
負債合計	24,949,319	24,458,978
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,950,000	1,950,000
資本剰余金	809,459	809,459
利益剰余金	1,356,223	1,654,950
自己株式	△6,821	△9,781
株主資本合計	4,108,861	4,404,629
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	363,841	487,496
土地再評価差額金	8,246,136	8,246,136
退職給付に係る調整累計額	△293,995	△239,116
その他の包括利益累計額合計	8,315,983	8,494,515
純資産合計	12,424,844	12,899,144
負債純資産合計	37,374,164	37,358,123

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高		
運輸作業収入	4,864,335	4,903,196
港湾営業収入	97,987	97,850
不動産売上高	170,122	148,872
機械営業収入	861,144	506,697
ホテル営業収入	1,423,950	1,443,094
商品売上高	1,627,251	838,655
その他の事業収入	685,826	620,257
売上高合計	9,730,618	8,558,624
売上原価		
運輸作業費	4,453,217	4,501,511
港湾営業費	84,802	86,173
不動産売上原価	62,764	65,459
機械営業費	802,946	481,182
ホテル営業費	1,215,287	1,214,802
商品売上原価	1,589,090	823,979
その他の事業費用	465,769	403,992
売上原価合計	8,673,879	7,577,101
売上総利益	1,056,739	981,522
販売費及び一般管理費	720,860	723,361
営業利益	335,878	258,161
営業外収益		
受取利息	3,091	145
受取配当金	29,859	36,720
貸倒引当金戻入額	247,867	—
保険解約返戻金	—	13,400
雑収入	14,079	18,731
営業外収益合計	294,897	68,998
営業外費用		
支払利息	80,750	72,187
雑支出	2,268	2,820
営業外費用合計	83,019	75,008
経常利益	547,756	252,152
特別利益		
固定資産売却益	3,015	6,605
退職給付引当金戻入額	5,462	—
特別利益合計	8,478	6,605
特別損失		
固定資産処分損	15,269	5,695
投資有価証券評価損	3,999	—
投資有価証券清算損	—	2,625
特別損失合計	19,269	8,321
税金等調整前四半期純利益	536,964	250,435
法人税、住民税及び事業税	212,011	137,341
法人税等調整額	52,554	△23,045
法人税等合計	264,566	114,296
少数株主損益調整前四半期純利益	272,398	136,139
四半期純利益	272,398	136,139

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	272,398	136,139
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	128,833	123,654
退職給付に係る調整額	—	54,878
その他の包括利益合計	128,833	178,532
四半期包括利益	401,231	314,672
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	401,231	314,672

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成25年4月1日至平成25年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,459,232	170,122	861,144	1,423,950	1,627,251	9,541,702	188,916	9,730,618
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,664	12,332	22,826	3,915	25,461	66,200	2,905	69,105
計	5,460,897	182,455	883,970	1,427,866	1,652,713	9,607,902	191,821	9,799,724
セグメント利益又は 損失(△)	151,696	109,608	5,807	33,315	22,074	322,502	13,098	335,601

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、OA機器の販売、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	322,502
「その他」の区分の利益	13,098
セグメント間取引消去	481
その他の調整額	△203
四半期連結損益計算書の営業利益	335,878

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	運輸部門	不動産部門	機械販売 部門	ホテル事業 部門	商品販売 部門	計		
売上高								
外部顧客への売上高	5,441,832	148,872	506,697	1,443,094	838,655	8,379,152	179,472	8,558,624
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,720	12,332	26,783	4,462	26,518	72,817	2,356	75,173
計	5,444,552	161,205	533,481	1,447,556	865,173	8,451,969	181,828	8,633,798
セグメント利益又は 損失(△)	121,290	84,983	△28,786	62,600	2,012	242,100	14,848	256,949

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、OA機器の販売、保険代理店業務、産業廃棄物の処理業務等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	242,100
「その他」の区分の利益	14,848
セグメント間取引消去	129
その他の調整額	1,082
四半期連結損益計算書の営業利益	258,161

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。